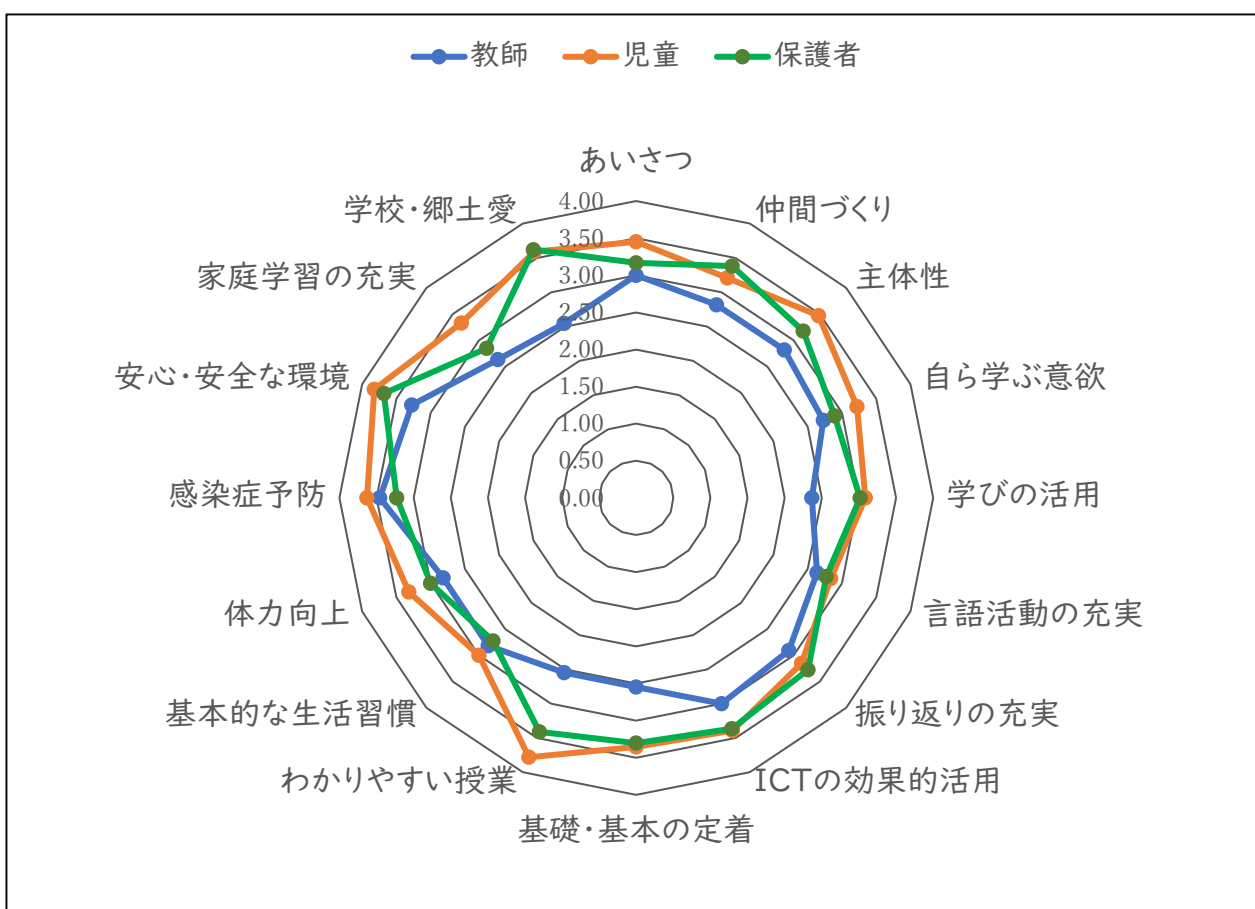


令和3年度後期学校評価の結果について



後期	教師	児童	保護者	平均	平均との差 (教師)	平均との差 (児童)	平均との差 (保護者)
あいさつ	3.00	3.45	3.17	3.21	-0.21	0.25	-0.04
仲間づくり	2.82	3.21	3.38	3.14	-0.32	0.07	0.24
主体性	2.82	3.47	3.18	3.16	-0.34	0.31	0.02
自ら学ぶ意欲	2.73	3.22	2.89	2.95	-0.22	0.27	-0.05
学びの活用	2.36	3.09	3.02	2.82	-0.46	0.26	0.19
言語活動の充実	2.64	2.84	2.77	2.75	-0.11	0.09	0.02
振り返りの充実	2.91	3.15	3.27	3.11	-0.20	0.04	0.16
ICTの効果的活用	3.00	3.39	3.36	3.25	-0.25	0.14	0.11
基礎・基本の定着	2.55	3.35	3.30	3.07	-0.52	0.29	0.24
わかりやすい授業	2.55	3.78	3.41	3.25	-0.70	0.54	0.16
基本的な生活習慣	2.82	3.00	2.73	2.85	-0.03	0.15	-0.12
体力向上	2.82	3.31	3.00	3.04	-0.23	0.27	-0.04
感染症予防	3.45	3.63	3.23	3.44	0.02	0.19	-0.21
安心・安全な環境	3.27	3.82	3.68	3.59	-0.32	0.23	0.09
家庭学習の充実	2.64	3.33	2.85	2.94	-0.30	0.39	-0.09
学校・郷土愛	2.55	3.59	3.62	3.25	-0.71	0.34	0.37

前期	教師	児童	保護者	平均	平均との差 (教師)	平均との差 (児童)	平均との差 (保護者)
あいさつ	3.00	3.37	3.16	3.18	-0.18	0.19	-0.02
仲間づくり	2.70	2.97	3.32	3.00	-0.30	-0.03	0.32
主体性	2.90	3.42	3.32	3.22	-0.32	0.21	0.11
自ら学ぶ意欲	2.60	3.03	2.88	2.83	-0.23	0.19	0.04
学びの活用	2.40	2.92	3.16	2.83	-0.43	0.09	0.34
言語活動の充実	2.30	2.84	2.73	2.62	-0.32	0.22	0.11
振り返りの充実	2.50	2.90	3.27	2.89	-0.39	0.01	0.38
ICTの効果的活用	2.70	3.24	3.32	3.09	-0.39	0.15	0.24
基礎・基本の定着	2.60	3.19	3.41	3.07	-0.47	0.12	0.34
わかりやすい授業	2.50	3.72	3.48	3.23	-0.73	0.48	0.25
基本的な生活習慣	2.70	3.11	2.71	2.84	-0.14	0.27	-0.13
体力向上	2.60	3.13	2.86	2.86	-0.26	0.27	-0.01
感染症予防	3.40	3.50	3.36	3.42	-0.02	0.08	-0.06
安心・安全な環境	3.20	3.57	3.63	3.46	-0.26	0.10	0.16
家庭学習の充実	2.50	3.33	2.93	2.92	-0.42	0.41	0.01
学校・郷土愛	2.10	3.65	3.63	3.13	-1.03	0.53	0.50

前期・後期比較	教師	児童	保護者	平均	
あいさつ	⇔	⇔	⇔	⇔	
仲間づくり	↑	↑↑	⇔	↑	
主体性	⇔	⇔	↓	⇔	
自ら学ぶ意欲	↑	↑	⇔	↑	
学びの活用	⇔	↑	↓	⇔	
言語活動の充実	↑↑	⇔	⇔	↑	
振り返りの充実	↑↑	↑↑	⇔	↑↑	
ICTの効果的活用	↑↑	↑	⇔	↑	
基礎・基本の定着	⇔	↑	↓	⇔	
わかりやすい授業	⇔	⇔	⇔	⇔	
基本的な生活習慣	↑	↓	⇔	⇔	
体力向上	↑↑	↑	↑	↑	↑↑ 0.2 以上向上
感染症予防	⇔	↑	↓	⇔	↑ 0.1 以上向上
安心・安全な環境	⇔	↑↑	⇔	↑	⇔ ほぼ同じ
家庭学習の充実	↑	⇔	⇔	⇔	↓ 0.1 以上低下
学校・郷土愛	↑↑	⇔	⇔	↑	↓↓ 0.2 以上低下

【結果についての分析】

○評価が高かったのは

教師は、①感染症予防 ②安心・安全な環境 ③あいさつ 同③ICTの効果的活用

児童は、①安心・安全な環境 ②わかりやすい授業 ③感染症予防

保護者は、①安心・安全な環境 ②学校・郷土愛 ③わかりやすい授業

●評価が低かったのは

教師は、①学びの活用 ②基礎・基本の定着 同②わかりやすい授業 同②学校・郷土愛

児童は、①言語活動の充実 ②基本的な生活習慣 ③学びの活用

保護者は、①基本的な生活習慣 ②言語活動の充実 ③家庭学習の充実

○三者の評価(平均)が高かったのは

①安心・安全な環境 ②感染症予防

③ICTの効果的活用 同③わかりやすい授業 同③学校・郷土愛

●三者の評価が低かったのは

①言語活動の充実 ②学びの活用 ③基本的な生活習慣

◇三者の意識の違いが大きかったのは

・学校・郷土愛について、教師は十分な取組ができていなかったと低く評価しているが、児童・保護者は「住んでいるところや学校が好き」という割合が高い。

・わかりやすい授業について、児童は高く評価しているが、教師はまだ不十分と低く評価している。

【結果についての考察・今後の改善点】

・全体的に、平均値が中央の「2.5」を超える項目が多く、高い評価だった。

・「あいさつ」については、三者共により評価だった。児童に比べると教師の評価はやや低かった。さらに、どこでも誰にでも進んで明るいあいさつができるように指導していきたい。

・「仲間づくり」については、教師・児童の評価が前期より向上している。各学級での人権教育やいじめ防止への取組、日々の学級経営の努力が結実しつつあると考える。

・「主体性」については、児童の評価は高く「自分の仕事に進んで取り組んでいる」という意識が高い。教師は、主体性を伸ばし、よさを発揮させ、支え合う仲間づくりがまだ不十分であると感じている。特別活動の充実がさらに必要である。

・「自ら学ぶ意欲」については、前期に比べると教師・児童の評価は向上しているが、まだ全体的に低い評価である。さらに児童が興味・関心をもって進んで学習に取り組めるような指導の工夫が必要である。

・「学びの活用」については、教師も児童も十分ではないと感じている。既習事項を問題解決の際に活かしたり、学習と生活の結びつきを感じさせたりする授業展開の工夫が必要である。

・「言語活動の充実」については、児童が考えをまとめたり、交流したり、発表したりする時間の確保と充実に取り組んできた。教師の意識では前期に比べて向上しているが、まだ児童や保護者は向上を感じるまでは至っていない。児童が、自分の考えを発表したり文にまとめたりすることに自信がもてるよう、指導の充実が必要である。

・「振り返りの充実」については、前期と比較すると教師・児童の評価が大きく向上した。今後も、児童が学習を振り返って学んだことや自己の成長を感じられるように振り返りを充実させていきたい。さらに、振り返りから自己の学習を調整していく力も高めていきたい。

・「ICTの効果的活用」については、前期に比べ教師・児童の評価が向上した。研究発表会に向け実践を積み重ねてきたことで、教師・児童のICT活用のスキルが高まっていると考える。

・「基礎・基本の定着」については、児童・保護者に比べ教師の評価が低かった。「個に応じた指導」や「読み・書き・計算等の定着」がまだ不十分であると教師は感じている。

・「わかりやすい授業」については、後期も児童・保護者の評価が高く、教師の評価は低かった。教師は分かりやすい授業づくりについて、さらに向上させるために謙虚に学ぼうとしていると考える。

・「基本的な生活習慣」については、児童・保護者の評価が下がった。生活リズムの乱れを保護者だけでなく児童自身も感じているようだ。家庭と連携しながら、児童自らが自分の生活を整える態度を育成していきたい。

・「体力向上」については、三者とも前期に比べて評価が高くなった。コロナ禍においても工夫しな

がら持久走やなわとび、外遊び等に取り組んできた成果であると考える。

- ・「感染症予防」については、教師・児童もに努力していることがうかがえる。油断することなく引き続き感染症予防に努めていきたい。
- ・「安心・安全な環境」について、三者とも評価が高かった。今後も、地域と連携した「見守り活動」、安全点検の確実な実施と危険箇所の改善等に心がけていきたい。
- ・「家庭学習の充実」については、教師は前期より向上したが、保護者の評価は下がった。さらに家庭との連携を深めながら家庭での学習習慣の育成に取り組んでいく必要がある。
- ・「学校・郷土愛」について、教師の評価はまだ低いですが、前期に比べると向上している。感染症対策のために、地域や保護者と連携した教育活動には制限が多いが、ICTを活用したり、行事を学年別に行ったり、工夫しながら連携を図っていることが要因ではないかと考える。